

問題

次の(1) 決算整理前残高試算表と(2) 決算整理事項等によって、答案用紙の()内に適切な語句または金額を記入して、貸借対照表と損益計算書を完成しなさい。なお、当会計期間はX1年4月1日からX2年3月31日までの1年間である。

(1) 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表

借 方	勘定科目	貸 方
737,000	現 金	
2,959,000	普 通 預 金	
	当 座 預 金	267,000
560,000	受 取 手 形	
1,168,000	売 掛 金	
50,000	仮 払 法 人 税 等	
637,000	繰 越 商 品	
4,200,000	建 物	
1,500,000	備 品	
2,000,000	土 地	
	支 払 手 形	390,000
	買 掛 金	872,000
	社 会 保 険 料 預 り 金	109,800
	貸 倒 引 当 金	17,800
	建 物 減 価 償 却 累 計 額	1,680,000
	備 品 減 価 償 却 累 計 額	500,000
	資 本 金	5,000,000
	繰 越 利 益 剰 余 金	4,134,600
	売 上	22,921,400
	受 取 手 数 料	10,000
11,409,000	仕 入	
8,784,000	給 料	
360,000	保 険 料	
165,000	水 道 光 熱 費	
56,000	租 税 公 課	
1,317,600	法 定 福 利 費	
35,902,600		35,902,600

(2) 決算整理事項等

- 現金の実際有高は¥719,000であった。帳簿残高との差額のうち¥14,000については水道光熱費の記入漏れであることが判明したが、残額については原因不明なので、雑損または雑益として処理する。
- 売掛金¥38,000が普通預金口座に振り込まれていたが、この取引が未記帳であることが判明した。
- 当座預金勘定の貸方残高全額を借入金勘定に振り替える。なお、取引銀行とは借越限度額を¥1,000,000とする当座借越契約を結んでいる。
- 受取手形および売掛金の期末残高に対して2%の貸し倒れを見積もる。貸倒引当金の設定は差額補充法による。
- 期末商品棚卸高は¥693,000である。
- 購入時に費用処理した収入印紙の未使用高が¥18,000あるため、貯蔵品へ振り替える。
- 有形固定資産について、次の要領で定額法により減価償却を行う。
建物：残存価額ゼロ、耐用年数30年
備品：残存価額ゼロ、耐用年数6年
- 法定福利費の未払分が¥109,800ある。
- 保険料は全額当期の8月1日に向こう1年分を支払ったものであるため、前払分を月割で計上する。
- 法人税等が¥150,000と計算されたので、仮払法人税等との差額を未払法人税等として計上する。

答案用紙

貸借対照表

X2年3月31日

(単位：円)

現金	()	支払手形	390,000
普通預金	()	買掛金	872,000
受取手形	()	社会保険料預り金	()
() (△) ()		未払法人税等	()
売掛金	()	未払費用	()
() (△) ()		()	()
商品	()	資本金	5,000,000
貯蔵品	()	繰越利益剰余金	()
前払費用	()		
建物	()		
減価償却累計額	(△) ()		
備品	()		
減価償却累計額	(△) ()		
土地	2,000,000		
()			()

損益計算書

X1年4月1日からX2年3月31日まで

(単位：円)

売上原価	()	売上高	22,921,400
給料	8,784,000	受取手数料	10,000
貸倒引当金繰入	()		
減価償却費	()		
保険料	()		
水道光熱費	()		
租税公課	()		
法定福利費	()		
()	()		
法人税等	()		
当期純()	()		
()			()

解答

貸借対照表

X2年3月31日

(単位：円)

現金	(719,000)	支払手形	390,000
普通預金	(2,997,000)	買掛金	872,000
受取手形	(560,000)	社会保険料預り金	(109,800)
(貸倒引当金)	(△ 11,200)	未払法人税等	(100,000)
	(548,800)	未払費用	(109,800)
売掛金	(1,130,000)	(借入金)	(267,000)
(貸倒引当金)	(△ 22,600)	資本金	5,000,000
	(1,107,400)	繰越利益剰余金	(4,484,600)
商品	(693,000)		
貯蔵品	(18,000)		
前払費用	(120,000)		
建物	(4,200,000)		
減価償却累計額	(△ 1,820,000)		
	(2,380,000)		
備品	(1,500,000)		
減価償却累計額	(△ 750,000)		
	(750,000)		
土地	2,000,000		
	(11,333,200)		(11,333,200)

損益計算書

X1年4月1日からX2年3月31日まで

(単位：円)

売上原価	(11,353,000)	売上高	22,921,400
給料	8,784,000	受取手数料	10,000
貸倒引当金繰入	(16,000)		
減価償却費	(390,000)		
保険料	(240,000)		
水道光熱費	(179,000)		
租税公課	(38,000)		
法定福利費	(1,427,400)		
(雑損)	(4,000)		
法人税等	(150,000)		
当期純(利益)	(350,000)		
	(22,931,400)		(22,931,400)

<仕訳>

1.	水道光熱費	14,000	現金	18,000
	雑損	4,000		
2.	普通預金	38,000	売掛金	38,000
3.	当座預金	267,000	借入金	267,000
4.	貸倒引当金繰入	16,000	貸倒引当金	16,000
5.	仕入	637,000	繰越商品	637,000
	繰越商品	693,000	仕入	693,000
6.	貯蔵品	18,000	租税公課	18,000
7.	減価償却費	390,000	建物減価償却累計額	140,000
			備品減価償却累計額	250,000
8.	法定福利費	109,800	未払費用	109,800
9.	前払費用	120,000	保険料	120,000
10.	法人税等	150,000	仮払法人税等	50,000
			未払法人税等	100,000